



日中一時支援事業所という

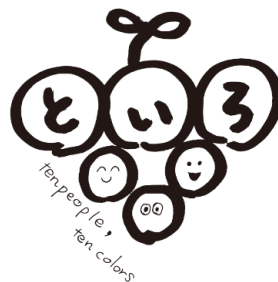
岡山市中区江崎 31-3
Tel 230-1992(代表)

といろ

ただの預かりではない、専門職のチーム スタッフによる療育支援

十人十色の「といろ」は子どもたちの1人1人の個性を大切にしたい思いから。日中一時支援での子どもの様子から特性の理解と関わり方について一緒に考え、家庭での子育てにつなげていきたいという思いで運営しております。

障害を持つ子供を専門的に長年ケアしてきた実績を持つスタッフが対応いたします。



放課後の流れ



一人ひとりのペースにあわせて宿題→おやつ→30分ほどのテーマあそび



ルールあそび

すごろくやボードゲーム、ランプ、かるたなどを通じて勝ち負けのコントロールやみんなと楽しく遊ぶためにルールを守る事の大切さを学びます。



創作活動

ねんど、絵の具を使ったアート作品、廃品のリサイクル、折紙、新聞紙ビリビリなど幅広く展開していく遊びの楽しさを体験

自由あそび

子どもが創意工夫できるように様々な素材を提供してあそびを広げていきます。



夏休みなどの長期休暇の1日の流れ

午前



調理実習

毎日、火を使わず、電気調理器具で簡単調理。将来、自炊できる子を目指します。(メニュー:写真どおり。メインディッシュ・サラダ・牛乳)長期休暇中は弁当いらず。



散歩

体幹をきたえて、姿勢の保持と体力づくりのため、自然環境体験公園、みやま公園、曹源寺などへお出かけします。

午後



ワーク

宿題やコグトレなどプリントをしたり、ひらがな・九九のボードゲームであそびながら学ぶ



水あそび

活動の流れはほぼ毎日一緒に、見通しをもって安心して活動に取り組みます。動と静のメリハリのある活動、食育、飼育、素材を大事にした活動に取り組みます。



日中一時支援事業所という

岡山市中区江崎 31-3
Tel 230-1992(代表)

子どもにあわせた環境



木育

パイン材やひのき材などの天然の木材を使用し、子どもが触って安全なものを使用。床・壁・棚・机などを木材で統一することで色のトーンを抑えています。発達障害のお子さんの視覚からの刺激を抑えて落ち着いて過ごすことができるような配慮。



照明器具

普段過ごす時間はオレンジ(電球灯)の灯でリラックスして過ごします。学習の際には、白色灯、デスクライトを使用し、学習に必要な照度に配慮。



子どもの身長にあわせた家具・施設備品は子どもの身長に合わせた高さのものを使用。小学生の身長 110cm~140cmにあわせた家具(机・いす)、施設設備(流し台・トイレ)を使用。



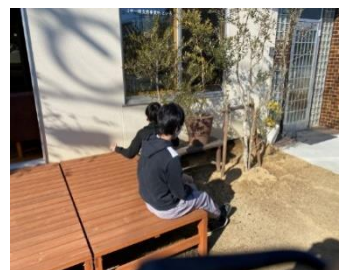
ロフトでクールダウン

発達障害のお子さんの高いところに登りたがる、狭いところが好きという特性に応じて、ロフトにクールダウンのスペースを確保。ロフトからみんなの様子が伝わるように、飛び降りないように転落防止の柵で安全面にも配慮。



感覚統合のおもちゃ

感覚統合、創作できるようなおもちゃを準備。発達障害のお子さんはハンモックなどのゆれで感覚を満たす事で落ち着いた行動につながっていきます。廃品を利用した創作活動や、カプラ・積み木・レゴなどの遊びこむ事ができるおもちゃを準備



そとあそび

ウッドテラスに出てオリーブの木を眺めたり、しゃぼん玉や水あそびをします。

基本料金

200 円

*最初の1時間まで・送迎時間含まず

☑以降 30 分ごとに 25 円

☑送迎(片道)50 円

生活保護世帯・市民税非課税世帯 0 円

その他料金

☑おやつ代20円

☑調理実習代200 円

生活保護世帯・市民税非課税世帯でもその他料金は必要。

開所日時

☑放課後利用の場合

学校終業から 18 時まで

18 時 30 分まで延長可能(事前の連絡必要。要相談)

☑夏休みなどの長期休暇の場合

8 時 30 分から 18 時までに

早朝は 8 時から、延長は 18 時 30 分まで可能(事前の連絡必要。要相談)早朝・延長時は送迎なし

☑土曜日について

仕事などで、利用希望の際は要相談の上、対応。土曜日のみの利用はご遠慮ください。



日中一時支援事業所という

岡山市中区江崎 31-3
Tel 230-1992(代表)

支援で大切にしたい事



子ども一人ひとりにあわせた多様なアプローチで、子どものもつ可能性をひきだしていきます。

子どもに身につけてほしい力

やる気スイッチが入るまでに時間がかかったり、「参加したくない」・「何もしたくない」気持ちも大切にしますが、その子のタイミングや方法で、参加できるように試みます。

- ・あそびのなかに学びがある事
- ・自分を知る事、他の人との違いに気づく事、困った事があつたら、相談、解決、回避していく力
- ・何でも参加してみよう！

支援者として心がけたい想い

子どもたちとスタッフみんなが居心地のよい場所。ゆる〜く、楽しく、笑顔を増やして…。支援者も子どもたちの環境の一部。「観察する」「待つ」(子どものプライドを傷つけない)「ちょっとしたお手伝い」を大切に。子どもの伸びていく力を温かく見守りながら、最適で、最小の支援を心がけていきたいと思います。子どもたちの生きづらさが少しでも軽くなりますように…。



家庭への想い

「短所は長所！」子どもへむける眼差しをかえる事で、子育てへの不安が和らぎます。子どものよい所と一緒にたくさん見つけて、親子でポジティブな子育てができるよう応援します。

スタッフの紹介

管理者 1 名(障害児相談支援員兼務) … 保健師・保育士・精神保健福祉士等取得

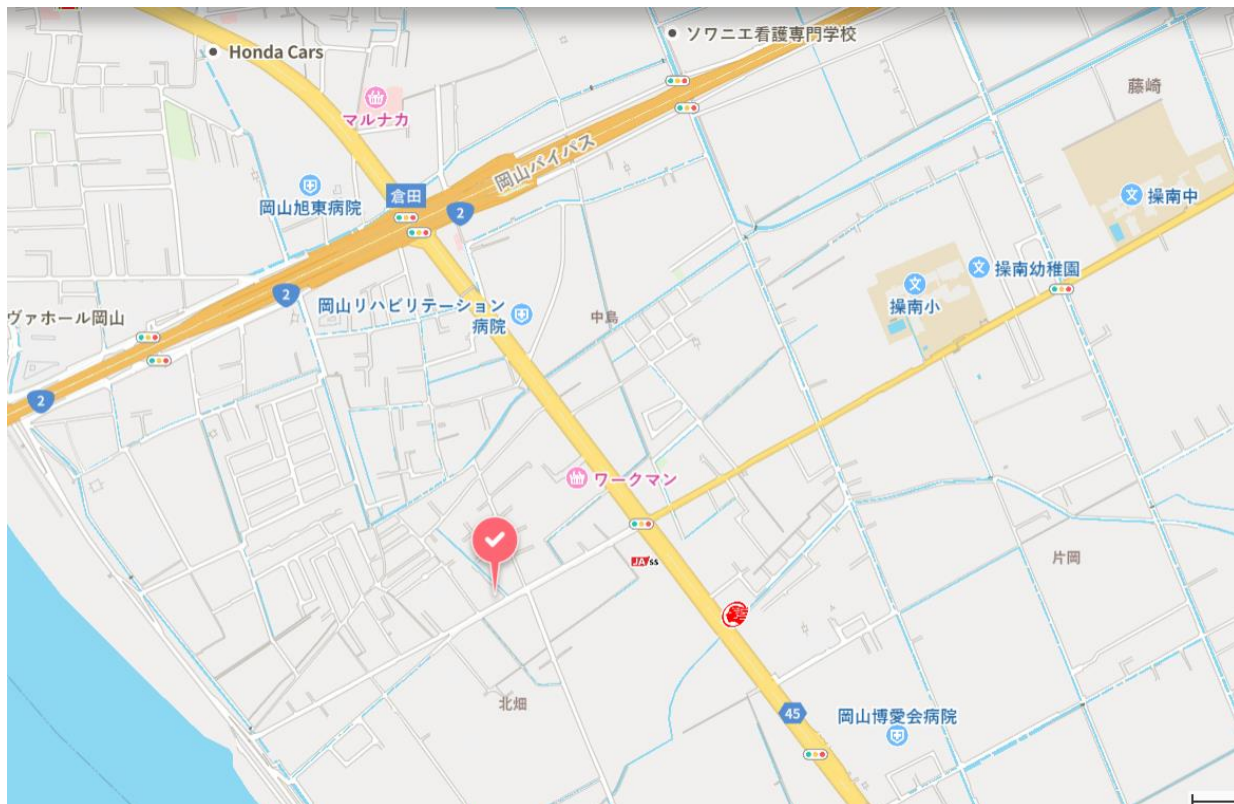
児童指導員 1 名 (介護福祉タクシー運転手兼務)

幼稚園・小学校教員免許取得者 1 名 その他 1 名 計 4 名



日中一時支援事業所という

岡山市中区江崎 31-3
Tel 230-1992(代表)



アクセス方法

岡電バス : 新岡山港方面:新道江崎バス停で下車。バス停から徒歩 5 分程度

両備バス : 沖元・西大寺線:宮道東バス停下車。バス停から徒歩 3 分程度



「といろ」の看板が目印
駐車場完備

ホームページ: toiro-okayama.pro

